

組織活動

2016年度活動報告

1. チラシ・ポスター・市広報・HP等を通じて登山活動を広報し、会員拡大を図る。

県連会員数の動向について、2014年度280名、2015年度261名、2016年度現在会員数は253名で、昨年度と比べて8名減となっています。直近5年を見ますと、2012年度325名をピークに減少傾向にあります。

2016年度登山学校、市民登山や友人関係等から16名の新入会員が入会しました。が、諸々の事情で24名の会員が退会され、昨年同様退会者が入会者を上回って追いつかない状態が続いています。

今年度も、各会においてチラシ・ポスター掲示、HPページの更新、市民バス登山(市広報)、写真展(高松・善通寺・あけぼの)や山サロン(塩飽)の開催等、会員拡大の企画が積極的に取組まれました。

ストレス社会の中で、登山を通じて一人一人の自由を謳歌する時間が今ほど求められている時は無いとおもいます。県連の登山活動は、こうした市民の期待に十分応える活動と力量を備えているとおもいます。高齢化が進行しているとは言え、各会にはまだ、力量をもった人材が沢山います。

県連としての当面の課題は、“2012年度の300名以上の会員”に回復すること。いま、県連が上げて取り組む時ではないかと思えます。各会とも魅力的な企画をアップグレードして、山に登りたい方に老若問わず一声かけて新しい仲間を迎えましょう。

2. 連盟内の意見交流を進めるため「拡大三役会議」の開催

8月28日(日)善通寺市民会館で、各会から27名が参加して開催しました。主題は「会員拡大の取り組み」について意見交換しました。

(善通寺山の会)このままでは、あと十年後には高齢化が一層進み、会の継承すら危うくなる。(観音寺あけぼの山の会)30~40代会員が少なく、会員を減らさないことを重視して運営している。(高松勤労者山の会)県連が開催する登山学校の取り組みは、大きな意義がある。(塩飽山の会)「山サロン」をオープンで開催し図っている。(さかいで山の会)「みんなでスポーツさかいで」と合同ハイキングを企画して2名の会員が入会等。

理事長から、全国連盟の山の会の「入会案内」(奈良HC・太田HC)のパンフレットや、西宮名昭山の会が新入会員の教育に力を注ぎ1~2年でリーダーを育てている経験が紹介されました。又、リーダーを育てる会の取り組みや、役員選出で限られた方に集中しないよう運営している等意見交換しました。

来年度は本格的な会員拡大に向けて、拡大三役会議のような各会が集まって知恵と力を出し合う場がどうしても必要です。具体的には、各会の組織担当者で拡大担当者

会議の場を開催し、県連としての取り組みを具体化し実行して行きたいと思いますが如何でしょうか。

2. 県連行事や四国ブロック行事に多数参加して組織強化を

県連行事や四国ブロック行事について、毎回の理事会や例会で取り上げて参加を呼び掛けました。例年と同様、三桁の会員が参加しました。行事が重なって参加出来なかった点は、今年度スケジュールを調整して計画します。

県連行事や四国ブロック行事を通じて、安全登山の意識を一層高めていくとともに県内・外の会員同士の経験交流や学習を深めて組織強化に繋げていきます。

3. 「登山時報」の普及・拡大について

遡って2015年6月に全国連盟理事長から、「登山時報」の拡大にむけての要請が届いて購読部数減少による危機が伝えられました。全国連盟では、機関紙委員会を立ち上げて、地方連盟の協力を得て部数拡大に具体的な手立てを講じて推進しています。

県連ではこの要請を受けとめ、機関紙担当者を配置して購読率回復に向けた取り組みを開始し、2015年度6月55部だった部数が2016年度3月に62部、9月に72部まで回復し拡大部数17部、拡大率30%で全国3番目になりました。本年度3月現在78部でこの間6つの会が増誌しました。

購読が増えたと言っても目標2000部に対して1割にも達していない状況ですのでこの成果に甘んずることなく、まだ読んでいない会員に勧めて行きたいと思います。

通信員の選任について、選任に至りませんでした。会独自に投稿した記事が掲載されました。「登山時報」は、地方の記事をもっと掲載していきたいという意向ですので、通信員にこだわらず各会ともどんどん投稿を勧めていきたいとおもいます。

2017年度活動方針（案）

1. チラシ・ポスター・市広報・HP等を通じて登山活動を広報し、会員拡大を図ります。県連300名会員を回復するため、会員拡大3か年計画をたて取り組みます。拡大担当者会議を年3~4回に開催し拡大計画を具体化し、まず初年度は全会が+1以上の目標を設定し265名到達を目指します。
2. 連盟内の意見交流を進めるため「拡大三役会議」を8月27日（日）に開催します。
3. 県連行事や四国ブロック行事への参加を積極的に呼び掛け、県連活動の理解を深め組織強化を図ります。
4. 毎月発行される登山時報の普及・拡大に努め活用します。